

佐倉市議会だより



2018年8月1日
(平成30年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL043-484-6254 FAX043-486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp

6月定例会



コンサートグランドピアノの購入
(佐倉市民音楽ホール)



佐倉草ぶえの丘整備事業
(佐倉草ぶえの丘)

一般会計補正予算など 市長提出14議案を 可決・同意

佐倉市議会は、6月4日から6月25日までの22日間にわたり、平成30年6月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「平成30年度佐倉市一般会計補正予算」など議案10件と諮問4件が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

請願・陳情については、「国における平成31(2019)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書」など5件が、議員提出議案については、「地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書」など12件がそれぞれ提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に5人、個人質問に11人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

5月臨時会

議長に 櫻井 道明 議員
副議長に 森野 正 議員
を 選 出

5月臨時会を5月15日に開催し、市長から「佐倉市役所出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について」など議案4件が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決・承認しました。

また、議長と副議長の選挙を行い、議長に櫻井道明議員、副議長に森野正議員を選出するとともに、各常任委員や議会運営委員の選任を行いました。(議会の構成については6ページに掲載しています。)



第60代副議長
森野 正 副議長
平成11年4月初当選以来、連続5期目。この間、第55代議長、議会運営委員長などを務める。
〔所属会派・公明党〕



第62代議長
櫻井 道明 議長
平成15年4月初当選以来、連続4期目。この間、第53代・第61代議長、総務常任委員長などを務める。平成30年度 千葉県市議会議長会会長
〔所属会派・さくら会〕

表彰

議員として、地方自治の伸張、発展と市政の向上、振興に貢献された功績に対し、次の議員が全国市議会議長会から表彰されました。

- 一般表彰
議員在籍15年
櫻井 道明 議員
山口 文明 議員
川名部 実 議員
藤崎 良次 議員

全国市議会議長会評議員として、会務運営の重責にあたり、会に貢献した功績に対し、次の議員に全国市議会議長会から感謝状が贈られました。

- 感謝状
櫻井 道明 議員

佐倉市議会のホームページも ご覧ください

◇佐倉市のホームページ
<http://www.city.sakura.lg.jp>

●会議録が検索できます!
平成元年以降の本会議の会議録のほか、平成27年5月以降の常任委員会や議会運営委員会など委員会等の会議録も検索することができます。

●インターネット中継を見ることができます!

本会議の様様を、開催時間中にライブ中継で見ることができるほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を見ることができます。(平成29年4月からスマートフォンでも視聴できるようになりました。)

スマートフォン用
アプリで佐倉市議
会だよりをご覧
いただけます。



市政に関する 一般質問

6月定例会では、6月11日から6月14日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（8月下旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム（8月下旬配信予定）からご覧いただけます。なお、一般質問の様子は、佐倉市議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

一般質問 通告要旨

代表質問 ※は持ち時間1時間、それ以外は30分。()内は会派名。

清宮誠(さくら会)※ ①市長の政治姿勢 ②佐倉の魅力強化、発信 ③少子化対策・若い世代の希望を叶える施策 ④住み続けたいと思えるまちづくり ⑤災害に備えた体制整備 ⑥行財政運営の適正化
小須田稔(公明党) ①まちづくりについて ②住んでよかった佐倉へ ③景観計画について
伊藤壽子(市民ネットワーク) ①官製ワーキングプア問題について ②図書館について ③化学物質過敏症問題について ④日付表記問題について
橋岡協美(のぞみ)※ ①市長の政治姿勢について ②安全・安心のまちづくり ③産業経済の活性化 ④心豊かな人づくり、まちづくり ⑤思いやりと希望にみちたまちづくり
木崎俊行(日本共産党) ①みんなの権利・生活保護 ②保育園・学童保育待機児童対策などについて ③神門「再生土」被害全面解決を求める

個人質問

岡村芳樹(公明党) ①市民と協働のまちづくりについて ②防災・減災に向けた取り組みについて ③オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて ④スポーツの振興による活性化の取り組みについて
望月壬子(さくら会) ①少子化対策 ②農業の推進について
高木大輔(さくら会) ①市長の政治姿勢 ②産業振興について ③SNSの活用について ④災害時のトイレについて
藤崎良次 ①市長の政治姿勢(実施計画、PFI、入札、ハラスメント) ②福祉政策(生活保護、国保、居宅訪問保育、高齢者単身生活) ③市政運営のソフト面ハード面について(公民館、スクールロイヤー他)
萩原陽子(日本共産党) ①公民館使用料の政策転換を問う ②会計年度任用職員制度について ③東海第二原発再稼働に関連して
山口文明(さくら会) ①市民の健康づくりについて ②働きやすい職場づくりについて ③ふるさと納税について ④バリアフリー社会を目指して
爲田浩(さくら会) ①選ばれるまちへの取り組みについて ②地域の課題について
敷根文裕(さくら会) ①佐倉市の住生活環境について ②市民サービスのための事務作業軽減と公益通報について ③フィルムコミッションの目的と今後の活用について ④市民への広報について ⑤子供達の学習環境について
大野博美(市民ネットワーク) ①「心」の領域に踏み込む道徳教育について ②佐倉市は地下水を本気で放棄するのか ③神門地区の再生土問題について
五十嵐智美(市民ネットワーク) ①子どもが健やかに育つための支援について ②高齢者施策について
村田穰史(さくら会) ①市長の政治姿勢

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問

さくら会

清宮 誠

次期総合計画の策定について

問 地方自治法上の策定義務がない中、総合計画は市にとって最も重要な行政計画であり、策定していくことだが、その構成や計画期間について伺う。

答 より効率的、効果的に推進するため、現計画と同様、基本構想、基本計画及び実施計画の3層構造とする。総合計画全体の期間は12年間とし、基本計画を前中後期の3期に区分する。

シティプロモーションについて

問 佐倉市における課題の整理やデータに基づくターゲットの絞り込み等をまとめた戦略のもとに、今後どのようにシティプロモーションを進めていくのか。

答 若い女性や子育て世代等、主な対象者に向けて効果的なプロモーションを実施するため、全庁にわたる組織横断的なプロジェクトチームの編成により推進体制を構築し、ホームページとSNSとの連携により効果的な魅力発信とその拡散を図る仕

組みづくりを目指す。

問 本質と方法論の混同、総論と各論の混在等、組織として留意しながら進めていただきたい。

少子化対策について

問 少子化対策は子育て支援にとどまらず、さまざまな施策の充実が必要であり、全庁的な取り組みが求められる。どのような市内連携が図られたのか。

答 少子化対策及び定住促進に関するプロジェクトチームを組織し、新規及び強化事業の検討を行った。また、先進事例を研究し、情報共有を図った。

佐倉図書館等複合施設について

問 施設の核である図書館機能として一番重要なことは何か。

答 幅広い資料の収集、発信、学習空間の確保及び多様な来館者への対応を基本方針とし、引き続き準備を進めていく。

公明党

小須田 稔

人口ビジョンについて

問 18歳成人法案が審議されている。18歳選挙権年齢とあわせ次世代の中学生高校生にもわかりやすい佐倉市人口ビジョンに

すべきではないか。

答 今回のビジョンは5つのケースを想定して推計してつくっている。そのため、わかりにくい面がある。今後は次期総合計画の策定とあわせ、わかりやすくしていきたい。

シティプロモーションについて

問 久留米市は佐倉市に似た環境のなか、地元企業に見学会の開催をお願いし、観光資源の一端を担ってもらっている。佐倉市も参考にすべきはないか。

答 久留米市の取り組みは特別な観光資源がなくとも行っている事例で大変参考になる。佐倉市にもぜひ生かしていきたい。

日本遺産にもなっている旧平井家住宅は、より活用される

ことが期待されるが、建物の場所が狭い交差点のところで利用しづらい。佐倉図書館の跡地に移築させるべきではないか。

答 活用については、関係課と協議を進めるが、移築については現時点では予定はない。

市民ネットワーク

伊藤 壽子

非正規職員の待遇改善

問 今年度から時給アップ、有給休暇の拡充、特別休暇の新設が図られた。夏季休暇についてもできるだけ早い実施を望む。

答 予算や保育園運営等の課題があるため継続協議中。

公務災害が起こった場合の補償機関は市町村総合事務組合で、補償請求は雇用者側のみとなっている。本人、遺族からも請求できるように改善すべき。

答 現行制度で問題は生じていないので改正の必要はない。

平成32年度施行の会計年度任用職員には非正規の恒常化、正規職員削減につながる懸念もある。待遇改善点について伺う。

答 フルタイムで半年以上継続勤務した場合の退職手当が決定。期末手当は慎重に検討中。

(仮) 佐倉図書館複合施設

問 現在基本設計、実施設計業務事業者を公募型プロポーザルで選考中。設計段階から市民・設計者が意見を交わせる機会の創設を。市民協働につながった伊万里市の例がある。

答 市民意見の把握、反映方法も事業者選定評価ポイントであり、市民等から広く意見を伺い反映に努めていく。

のぞみ

橋岡 協美

公共施設の更新財源と効率的な維持管理について

問 公共施設の更新費用を伺う。

答 年平均、建築物で約29億円、インフラで約44億円、合計73億円と試算している。

基金の中で公共施設の更新の財源に使えるものはあるか。

答 公共施設整備基金は、条例の趣旨から公共施設の更新や大規模修繕などの財源としての活用は可能である。当基金の残高は平成29年度末で約1億5400万円である。

公共施設の更新のための基金に積み増しを要望する。

志津コミュニティセンターは、昨年度指定管理から直営になり年間約750万円のコスト増となっている。公共施設の総合管理計画に記されている効率的な維持管理手法の視点でどのように捉えるか伺う。

答 直営と指定管理者でどちらがよりよいサービスを提供できるか、管理運営コストやサービスの質など、さまざまな面から検証し、最適な管理運営形態について関係部局と検討していく。

環境省のガイドライン改定に伴いどのように対応したのか。

問 飼いの責任、ペットの同行避難は避難所での同居と異なることの周知を図っている。

答 決められた飼育場所とは具体的にどの場所を指すのか。

答 ペットの臭気や衛生、鳴き声や動物アレルギーの問題から、避難者スペースからある程度離れた場所、かつ指定避難場所の建物内で雨風をしのげる場所等に設置する旨を規定している。

子育て世代包括支援センター

問 児童虐待防止は待ったなしである。妊婦全員面接実施前と転入してきた母子支援の取り組みを進めていただきたい。

日本共産党

木崎 俊行

健康で文化的な最低限度の生活

生活保護は保険加入もダメか

問 エアコンや携帯電話の保有は認めているが、学資保険や生命保険の保有はどうか。

答 生活保護実施要領の条件を満たしていれば認められる。

高校生アルバイト保護費減額か

問 佐倉市の生保のしおりでは、高校生のバイト収入も保護費から差し引く収入と読めるが。

答 入学金や運転免許証など就労に必要な資格習得に充てる場合などは収入としない旨、生保のしおりの中にも掲載する。

待機児童家庭の困難をどうする

問 保育園と同様、学童の申し込み時「待機になったらどうするか」の設問追加を提案する。

答 待機解消に向け、協議、調整中。設問の追加は様子を見る。

保育園や学童で待機を出さない責任は市にあるのか、開発業者にあるのか。

答 市が整備を進める。

神門「再生土」被害全面解決を

問 違反業者が自ら行った再検査は項目も不十分。全て業者任せなのが不安の根源。県に早急な住民説明会開催要請を。答 県は適時に住民説明会を行う方針。丁寧な説明を要望する。

個人質問

公明党 岡村芳樹

地域まちづくり協議会について

昨年、市から何ら助言やアドバイスもなく、一方的に予算が決められた一連の対応に、さまざまご意見や苦情とともに不信が募っている。しづが原まち協の「手づくりキャンプ」上中上は、まち協の前身「上志津中学校区地域推進会議」で11年間行ってきた。この時を含め今年で18回目、まち協事業となり7回目。地域の青少年健全育成活動で、丸2日間準備と運営で食事もままならず1個50円のおにぎりとおにぎり片手で食べながら運営している。これも弁当に類するとして一切認めない。最低限必要な経費と考えるが、見直す考えはあるか。

高木大輔

地方自治法154条について

この規定は、長の執行権の及ぶ範囲内において、職員に対しその意思に従わせることを要請するもので、市政のかじ取りに際して非常に重要と考えるが、教育委員会等の執行機関との連携も含め、市長の考えを伺う。

市内産業の活性化について

地域経済循環率を上げるための取り組みについて伺う。①中小企業に対する支援の強化、②観光消費につなげるシステムとなるブランドデザインの策定、③企業誘致や起業創業の促進について、進めていく。

望月匠子

健康の推進について

本市は不妊にならない健康づくりを推進しているが、妊娠して胎児に影響を及ぼす風しんの感染予防策を伺う。

安全なまちづくりについて

登下校時の子どもたちの一層の安全対策を伺う。命を守る視点で、教職員や

スクールガードボランティア、教育委員会職員のパトロール、警備会社の巡回、警察等と緊密な連携を図っている。

安全に配慮された公園管理

安全に配慮された公園管理を行っているが、西志津スポーツ等多目的広場の女子トイレに不審者があらわれた。犯罪のない安全なまちづくりのため防犯カメラの設置が有効ではないか。

高木大輔

地方自治法154条について

この規定は、長の執行権の及ぶ範囲内において、職員に対しその意思に従わせることを要請するもので、市政のかじ取りに際して非常に重要と考えるが、教育委員会等の執行機関との連携も含め、市長の考えを伺う。

市内産業の活性化について

地域経済循環率を上げるための取り組みについて伺う。①中小企業に対する支援の強化、②観光消費につなげるシステムとなるブランドデザインの策定、③企業誘致や起業創業の促進について、進めていく。

望月匠子

健康の推進について

本市は不妊にならない健康づくりを推進しているが、妊娠して胎児に影響を及ぼす風しんの感染予防策を伺う。

安全なまちづくりについて

登下校時の子どもたちの一層の安全対策を伺う。命を守る視点で、教職員や

上昇を試算した。H27年度では市長部局で約1億5千万円、公営企業で約9千万円、H28年度では市長部局で約1億5千万円、公営企業で約7千万円となった。

「たばこ」による超過医療費

前回の議会答弁にて、市内でたばこによる超過医療費が年間23億円と推定されている。国保会計ではどの程度の金額か。

高木大輔

「たばこ」による超過医療費

前回の議会答弁にて、市内でたばこによる超過医療費が年間23億円と推定されている。国保会計ではどの程度の金額か。

日本共産党 萩原陽子

市民は無料だった公民館の有料化を決めた経緯を伺う。行政改革懇話会から意見書をいただいた基本方針を策定した。

日本共産党 萩原陽子

市民は無料だった公民館の有料化を決めた経緯を伺う。行政改革懇話会から意見書をいただいた基本方針を策定した。

臨時・非常勤職員の処遇改善

公務労働は利益を目的としない仕事であり、市民と行政の接点。公務労働の担い手の労働条件を担保するべき。

分があった。その辺の整理、厳格化することにより、処遇改善を含めて今後検討していく。

京成佐倉駅エレベーター設置

市民の高齢化率が30%を超えてきている。市民の皆さんの要望に応じて、同駅北口エレベーターの早期設置を切望する。

山口文明

京成佐倉駅エレベーター設置

市民の高齢化率が30%を超えてきている。市民の皆さんの要望に応じて、同駅北口エレベーターの早期設置を切望する。

職員の時外勤務時間の縮減

昨年6月定例会で、時間外労働について指摘したが、それでもまだ長時間労働が生じている。民間企業と仕事の内容及質が異なることを考慮しても、これは座視できない。市は時間外勤務時間の縮減にどのように取り組んできたか。

職員の時外勤務時間の縮減

昨年6月定例会で、時間外労働について指摘したが、それでもまだ長時間労働が生じている。民間企業と仕事の内容及質が異なることを考慮しても、これは座視できない。市は時間外勤務時間の縮減にどのように取り組んできたか。

市民ネットワーク 五十嵐智美

子どもたちが健やかに育つ支援。慢性的な病気や精神的な問題を抱える親等を介護している18歳未満の子どもの状況を把握し、外国人籍の親のため通訳したり、病気のためかわりに兄弟の面倒を見なければならぬ子どもがいた。福祉的支援が必要のため関係機関等と連携している。

したプロモーションを展開していると思うが、知りたい人にこれらの情報は届いているか、届きたいと思っているターゲットに届いているか。

佐倉市の住生活環境について

千葉県の不動産公示価格において佐倉市は住宅地変動率がマイナス1.4%、県内50位である。どう考えているのか伺う。

敷根文裕

佐倉市の住生活環境について

千葉県の不動産公示価格において佐倉市は住宅地変動率がマイナス1.4%、県内50位である。どう考えているのか伺う。

市民ネットワーク 大野博美

心領域に踏み込む道徳教育。来年から中学校も道徳が正式教科になるが、道徳推進の安倍首相こそが「嘘をついてはいけない」など道徳をイチから学

市民ネットワーク 大野博美

心領域に踏み込む道徳教育。来年から中学校も道徳が正式教科になるが、道徳推進の安倍首相こそが「嘘をついてはいけない」など道徳をイチから学

市民ネットワーク 大野博美

心領域に踏み込む道徳教育。来年から中学校も道徳が正式教科になるが、道徳推進の安倍首相こそが「嘘をついてはいけない」など道徳をイチから学

び直すべきだ。数値で自己評価をさせる教科書があるがどうか。

市長の市政や公務に対するお考えについて

（自家用車で公務に向かっているが）誰が運転していたか。私の知り合いが運転した。

村田稔史

市長の市政や公務に対するお考えについて

（自家用車で公務に向かっているが）誰が運転していたか。私の知り合いが運転した。

市民ネットワーク 五十嵐智美

子どもたちが健やかに育つ支援。慢性的な病気や精神的な問題を抱える親等を介護している18歳未満の子どもの状況を把握し、外国人籍の親のため通訳したり、病気のためかわりに兄弟の面倒を見なければならぬ子どもがいた。福祉的支援が必要のため関係機関等と連携している。

市民ネットワーク 五十嵐智美

子どもたちが健やかに育つ支援。慢性的な病気や精神的な問題を抱える親等を介護している18歳未満の子どもの状況を把握し、外国人籍の親のため通訳したり、病気のためかわりに兄弟の面倒を見なければならぬ子どもがいた。福祉的支援が必要のため関係機関等と連携している。

市民ネットワーク 大野博美

心領域に踏み込む道徳教育。来年から中学校も道徳が正式教科になるが、道徳推進の安倍首相こそが「嘘をついてはいけない」など道徳をイチから学

そのように力強く進めていきたいと考えている。

市長の市政や公務に対するお考えについて

（自家用車で公務に向かっているが）誰が運転していたか。私の知り合いが運転した。

村田稔史

市長の市政や公務に対するお考えについて

（自家用車で公務に向かっているが）誰が運転していたか。私の知り合いが運転した。

市民ネットワーク 五十嵐智美

子どもたちが健やかに育つ支援。慢性的な病気や精神的な問題を抱える親等を介護している18歳未満の子どもの状況を把握し、外国人籍の親のため通訳したり、病気のためかわりに兄弟の面倒を見なければならぬ子どもがいた。福祉的支援が必要のため関係機関等と連携している。

市民ネットワーク 五十嵐智美

子どもたちが健やかに育つ支援。慢性的な病気や精神的な問題を抱える親等を介護している18歳未満の子どもの状況を把握し、外国人籍の親のため通訳したり、病気のためかわりに兄弟の面倒を見なければならぬ子どもがいた。福祉的支援が必要のため関係機関等と連携している。

市民ネットワーク 大野博美

心領域に踏み込む道徳教育。来年から中学校も道徳が正式教科になるが、道徳推進の安倍首相こそが「嘘をついてはいけない」など道徳をイチから学



用語解説

【地域経済循環率】生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

平成30年5月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 決 承 認
賛 成 反 対 議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会																公明党				市民ネット ワーク			のぞみ		日本 共産党		会派に 属さない議員			
			No.4	6	7	8	10	17	18	22	23	24	26	27	28	9	16	21	25	13	14	15	2	11	3	12	1	5	19	20			
			敷根文裕	望月庄子	高木大輔	平野裕子	爲田浩	石渡康郎	村田穰史	川名部美	山口文明	櫻井道明	押尾豊幸	清宮誠	中村孝治	久野妙子	小須田稔	岡村芳樹	森野正	大野博美	伊藤壽子	五十嵐智美	徳永由美子	橋岡協美	木崎俊行	萩原陽子	齋藤明美	山本英司	藤崎良次	冨塚忠雄			
市長提出議案																																	
1	佐倉市役所出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	専決処分の承認を求めることについて (佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	専決処分の承認を求めることについて (佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	専決処分の承認を求めることについて (佐倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

平成30年6月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 決 否 決 同 意
採 採 択 不採 採
賛 成 反 対 議長 採決不参加

議案番号	議案名	議決結果	さくら会																公明党				市民ネット ワーク			のぞみ		日本 共産党		会派に 属さない議員			
			No.4	6	7	8	10	17	18	22	23	24	26	27	28	9	16	21	25	13	14	15	2	11	3	12	1	5	19	20			
			敷根文裕	望月庄子	高木大輔	平野裕子	爲田浩	石渡康郎	村田穰史	川名部美	山口文明	櫻井道明	押尾豊幸	清宮誠	中村孝治	久野妙子	小須田稔	岡村芳樹	森野正	大野博美	伊藤壽子	五十嵐智美	徳永由美子	橋岡協美	木崎俊行	萩原陽子	齋藤明美	山本英司	藤崎良次	冨塚忠雄			
市長提出議案 ※白抜き数字は諮問番号																																	
1	平成30年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	佐倉市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	佐倉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	佐倉市指定地域密着型サービス基準条例等の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
6	佐倉市さくらんぼ園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
7	佐倉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8	佐倉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9	財産の取得について (コンサートグランドピアノの購入)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
10	教育委員会委員の任命について (関山 邦宏(せきやま・くにひろ)氏を再度任命するもの)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
1	人権擁護委員候補者の推薦について (石渡 康郎(いしわた・やすお)氏を再度推薦するもの)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	人権擁護委員候補者の推薦について (寺町 明美(てらまち・あけみ)氏を再度推薦するもの)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	人権擁護委員候補者の推薦について (吉森 文男(よしもり・ふみお)氏を再度推薦するもの)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	人権擁護委員候補者の推薦について (若井 睦(わい・むつみ)氏を推薦するもの)	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願・陳情 ※白抜き数字は陳情番号																																	
16	「国における平成31(2019)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
17	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
18	日本政府に核兵器禁止条約に署名し、批准することを求める意見書提出を求める請願書	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
18	国に対する地方消費者行政の財政支援を求める意見書提出に関する陳情書	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
19	「公民館有料化」の延期・再検討とだれでも公平・自由に安心して利用できる市民の公民館の在り方を保障することの陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
議員提出議案 ※数字は発議案番号																																	
1	地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	国における平成31年度教育予算拡充に関する意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
6	日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
7	憲法第9条に自衛隊を書き込むことに反対する意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
8	福島県内の放射線測定モニタリングポストの継続配置を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
9	小西議員への暴言事件で明らかになった文民統制の機能不全の抜本的改善を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
10	東海第二発電所の運転期間延長と再稼働を認めないよう求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
11	公文書の隠蔽・改ざん事案の真相究明を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
12	オスプレイ配備をやめるよう求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			

委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

《審査結果》

議案1	議案2	議案3	議案9	請願18	陳情18
可決	可決	可決	可決	不採択	採択

開催日：平成30年6月18日 / 場所：第三委員会室

議案4件、請願1件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

公共施設マネジメント調査研究に当たっては、民間事業者の活用を含め、学校プール・市民プールの集約化を慎重に、かつ大局的な視点で検討していただきたい。

〔委員〕◎村田稷史、○高木大輔、木崎俊行、橋岡協美、伊藤壽子、小須田稔、清宮誠

文教福祉常任委員会

《審査結果》

議案4	議案5	議案6	議案7	議案8	請願16
可決	可決	可決	可決	可決	採択
請願17	陳情19				
採択	不採択				

開催日：平成30年6月19日 / 場所：第三委員会室

議案5件、請願2件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

地域密着型サービスについては、今後ますますニーズが高まるものと考えられることから、安定したサービスの提供が図られるよう、介護保険施策の推進に努めていただきたい。

〔委員〕◎石渡康郎、○敷根文裕、山本英司、大野博美、岡村芳樹、櫻井道明、中村孝治

経済環境常任委員会

《審査結果》

議案1
可決

開催日：平成30年6月20日 / 場所：第三委員会室

議案1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

農産園芸総合対策事業補助金は、市の政策目的実現に資するものであることに鑑み、市は随時その成果を評価するとともに、市としても農産園芸事業の拡充発展について必要な支援に努めていただきたい。

〔委員〕◎平野裕子、○久野妙子、斎藤明美、徳永由美子、五十嵐智美、川名部実、山口文明

建設常任委員会

開催日：平成30年6月21日 / 場所：第三委員会室

付託された議案はありません。

〔委員〕◎爲田浩、○望月庄子、萩原陽子、藤崎良次、冨塚忠雄、森野正、押尾豊幸

議会の構成

各委員会の構成が変わりました

総務常任委員会



橋岡協美 木崎俊行 伊藤壽子
小須田稔 ◎村田稷史 ○高木大輔 清宮誠

文教福祉常任委員会



岡村芳樹 櫻井道明 山本英司
中村孝治 ◎石渡康郎 ○敷根文裕 大野博美

経済環境常任委員会



斎藤明美 五十嵐智美 徳永由美子
山口文明 ◎平野裕子 ○久野妙子 川名部実

建設常任委員会



森野正 押尾豊幸 藤崎良次
萩原陽子 ◎爲田浩 ○望月庄子 冨塚忠雄

会派・各常任委員会等

議長 櫻井道明 副議長 森野正

委員会 会派	総務常任委員会	文教福祉常任委員会	経済環境常任委員会	建設常任委員会	議会運営委員会	議会改革推進委員会	広報公聴委員会
さくら会	○高木大輔 ◎村田稷史 清宮誠	○敷根文裕 ◎石渡康郎 櫻井道明 中村孝治	◎平野裕子 川名部実 山口文明	○望月庄子 ◎爲田浩 ※押尾豊幸	敷根文裕 望月庄子 石渡康郎 ※押尾豊幸	○高木大輔 平野裕子 ◇櫻井道明 ※押尾豊幸	○敷根文裕 望月庄子 爲田浩 石渡康郎
公明党	小須田稔	※岡村芳樹	○久野妙子	森野正	※岡村芳樹	久野妙子 ◎岡村芳樹	◎小須田稔
市民ネットワーク	伊藤壽子	大野博美	※五十嵐智美		伊藤壽子	※五十嵐智美	伊藤壽子
のぞみ	※橋岡協美		徳永由美子		徳永由美子	※橋岡協美	※橋岡協美
日本共産党	木崎俊行			※萩原陽子	木崎俊行	※萩原陽子	木崎俊行
会派に属さない議員		山本英司	斎藤明美	藤崎良次 冨塚忠雄			斎藤明美

議席番号順、※会派代表者、◎委員長、○副委員長、◇オブザーバー

『お子さま連れで議会傍聴へお越しく下さい』

開かれた議会への取り組みとして、小さなお子さまがいらっしゃる市民の皆さまにも安心して議会傍聴をしていただけるように臨時託児室を設置します。



- 対象児 生後6か月以上で就学前のお子さま
- 利用可能日 平成30年8月定例会以降の本会議・一般質問のみ(傍聴者おひとりにつき、1日2時間とします。)
- 利用料 無料
- 申込期限 各定例会の招集日まで(平成30年8月定例会の場合：8月27日(月)まで)

託児を希望される方は、下記申込先までお電話ください。お子さまをお預けいただく際の注意事項が記載された書類等を郵送させていただきます。

申込先：佐倉市議会事務局
TEL 043-484-6254

8月定例会の予定 議会を傍聴してみませんか

- ◆議会運営委員会 8月21日(火)
- ◆招集日 8月27日(月)午後1時から
- ◆一般質問 9月3日(月)～6日(木)
- ◆常任委員会 9月10日(月)～13日(木)
- ◆決算審査特別委員会 9月18日(火)～21日(金)
- ◆最終日 9月26日(水)午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては事務局までお問い合わせください。 議会事務局 TEL 043-484-6254

■インターネット中継：本会議(招集日・一般質問・最終日)の様態を開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。

■CATV議会放映：本会議の様態を開催日の翌日午後5時30分から放送。
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】



最後の任期に2回目の副委員長に推薦して頂きました。委員長を補佐し、職務をしっかりと全うします。これからの時代は様々なメディアが世の中にある事から常に工夫をして市民の皆様と読んでいただけるような広報誌を作らねば税金の無駄ともなりかねません。市民の視線を大切に愛される新たな議会だよりを作っていきたいと思っております。
(広報公聴委員長 敷根文裕)

議会活動を市民の皆様にお知らせする「佐倉市議会だより」のより一層の充実と分かりやすさに努めてまいります。
意見交換会等につきましても市民の皆様と直接お会いして、さまざまなお考えやご意見を伺える数少ない機会ですので有意義な時間となり、議会を身近に感じていただけるような場になればと思っております。
(広報公聴委員長 小須田稔)

議会百景